

SOKYO
ATSUMI



道川省三《Volcano》、2022、陶、H41×W20×D20 cm

道川省三 個展
たづたづしー伝統の先に見えるものー

内覧会：2023年5月12日（金）5 – 7PM

会期：2023年5月13日（土） - 2023年6月29日（木）

SOKYO ATSUMI

140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階 #304

開廊時間：11:00 – 18:00（火 - 木） 11:00 – 19:00（金・土） 休廊日：日・月

SOKYO ATSUMI

140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階

+ 81 (0)80 7591 5212

プレスリリース

SOKYO ATSUMI（東京）では道川省三 個展「たづたづしー伝統の先に見えるものー」を開催いたします。2019年の艸居（京都）での個展に引き続き、SOKYO ATSUMIでは初個展となります。

本展では41点の新作を展示し、道川らしい躍動感のある作品に加えて、それに対比するような静寂な佇まいの作品も含んでおり、道川作品の魅力を多面的に触れていただける渾身の個展となっております。

本展覧会タイトル「たづたづし」は万葉集「夕闇は 道たづたづし 月待ちて 行ませ我が背子 その間にも 見む」から取られた言葉です。「たづたづし」は「はっきりとせず、不安である」という意味で、道川は、「先行きが不透明な現代社会においても、常に前向きな姿勢で新しいことに挑戦する」という本展への思いをこの言葉に込めています。

道川作品は、轆轤の遠心力を駆使して生み出される螺旋状の力強いフォルムで知られています。土と対話し、土に本来備わっている造形と真摯に向き合いながら、逆説的、実験的な方法で常に新しい制作に挑戦しています。北海道、有珠山の麓に生まれ育ち、幼少時代から触れ親しんできた雄大かつ驚異的な自然を作品に表現します。

《Volcano》は有珠山をイメージして制作された作品で、鉄分の強い赤土に部分的に鉄釉を施釉し、穴窯で3日間焼成されました。窯のなかで薪の自然灰と鉄釉が溶け合い、独特の火山の熔岩のようなテクスチャーを表現しています。《Kohiki Natural Ash Sculpture》は、マット釉を使うことで、光の僅かな違いを立体的に表現しています。暖かく落ち着きがある色が特徴的で、轆轤の強い力を利用し背の高い直方体の土の塊を分断するダイナミズムも本作の大きな魅力となっております。その他、複数の色土を使用した彫刻や、伝統とは相対した焼成方法によって生み出された新作を展示いたします。荒々しさを感じさせながらも火や自然釉から偶然によって生み出される形状と、テクスチャーの繊細なコントラストは高度に洗練されたバランスを感じさせます。鑑賞者に語りかけるような強い表現性は、陶による芸術の一つの到達点を示しているといえるでしょう。

展覧会の構成においては谷崎潤一郎の「陰翳礼讃」を引用しており、薄暗い空間に作品がぼんやりと浮かび上がります。日本の美意識は陰翳との共存にあり、日本人が見出してきた奥ゆかしさや趣が闇に潜みます。本展を通じて、道川の世界観に触れると共に、日本のアイデンティティーや美意識のあり方を再考する機会になれば幸いです。いにしえより日本人が築いてきた美意識を、道川は現代においてどのように継承し、本展で発展させたのかー是非ともこの機会に本展をご高覧いただきますようお願い申し上げます。

是非、貴社・貴誌にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。
掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けますと幸いです。

プレス担当: 金田 幸
〒140-0002 東京都品川区東品川 1-32-8 TERRADA ART COMPLEX II 3階 #304
Mail: sokyoAtsumi@gallery-sokyo.jp Tel: 080-7591-5212

作家略歴

道川省三 みちかわ・しょうぞう

1953年北海道虻田郡洞爺湖町生まれの道川省三は、愛知県瀬戸市を拠点としながら、欧米、アジア圏など30カ国以上で個展やワークショップを開催。作品はヴィクトリア・アンド・アルバート美術館（ロンドン・イギリス）、アシュモレアン博物館（オックスフォード・イギリス）、ウェールズ国立博物館（カーディフ・ウェールズ）、カウルザウリ美術館（ファエンツァ・イタリア）、チェルヌスキ美術館（パリ・フランス）、リヨン美術館（リヨン・フランス）、ロサンゼルス・カウンティ美術館（ロサンゼルス・アメリカ）、フィラデルフィア美術館（フィラデルフィア・アメリカ）、クロッカー美術館（サクラメント、カリフォルニア・アメリカ）、ウスター美術館（ウスター、マサチューセッツ・アメリカ）、アジア美術館（サンフランシスコ・アメリカ）、中日交流中心（北京・中国）、青龍寺（西安・中国）、茨城県陶芸美術館（笠間・茨城）、島田市博物館（島田・静岡）、など20以上の美術館に収蔵されている。

主な個展は「Shozo Michikawa」ギャルリ・ベッソン(2004・2007・2009年・ロンドン・イギリス)、アースキン・ホール&コー(2011・2015・2017・2020年・ロンドン・イギリス)、2016年「Natura, Gesto, Scultura」カルロ・ザウリ美術館(2016年・ファエンツァ・イタリア)、「Nature into Art」Silverlens Gallery (2017年・マニラ・フィリピン)、「40周年記念展 道川省三」艸居(2019年・京都)、「Shozo Michikawa」ホストラー・バロウズ (2021年・ロサンゼルス・アメリカ)、「Michikawa Shozo Solo Exhibition」 Sokyos Lisbon (2022年・リスボン・ポルトガル) などがある。

主なグループ展には、「Gallery Pots」ギャルリ・ベッソン(1999年・ロンドン・イギリス)、「Japanese Crafts」ギャルリ・ベッソン(2006年・ロンドン・イギリス)、「日本の工芸1870-現在」(2009年・フィラデルフィア・アメリカ)、「ArtCe'ram」(2014年・セブル・フランス)、「Ceramics Now!」ファエンツァ国際陶芸美術館(2018年・ファエンツァ・イタリア)、「Masterpieces-日本陶芸の400年」(2018年・ホーガネス・スウェーデン)、アートフェア東京、艸居(2019年・東京)、「Art Basel Hong Kong」タカ・イシイギャラリー (2021年・香港)「日本現代陶芸との呼応と対比」艸居アネックス (2022年・京都)、「Art Basel, Basel」タカ・イシイギャラリー (2022年・バーゼル・スイス)、「Fog Design +Art」,ホストラー・バロウズ (2023年・サンフランシスコ・アメリカ)「Art Fair Philippine」,シルバーレンズ・ギャラリー (2023年・マニラ・フィリピン)

受賞歴には、2005年「CERAM ICAM OSAICO」グランプリ (ラベンナ・イタリア)、2018年「The Bavarian State Prize at the International Trade Fair in Munich」金賞・ミュンヘン国際ハンドクラフトフェア (ミュンヘン・ドイツ)、「Ceramics Now : Faenza Prize is 80 years old」ファエンツァ国際陶芸美術館(ファエンツァ・イタリア)、2019年「ロエベ財団クラフトプライズ 2019」ファイナリスト・ロエベ財団(東京)、2022年「フランス社会功労奨励賞」王冠付金賞 (パリ・フランス) がある。

出品作品 (一部)



道川省三 《Kohiki Natural Ash Sculpture》、
2022、陶 H47 x W24.5 x D19 cm



道川省三 《Shino Natural Ash Sculpture》、
2022、陶、H35 x W23 × D23 cm



道川省三 《Stratum》
2022 年、陶、H40 x W18 × D18 cm



道川省三 《Kohiki Sculpture From》
2022 年、陶、H45xW18×D18 cm